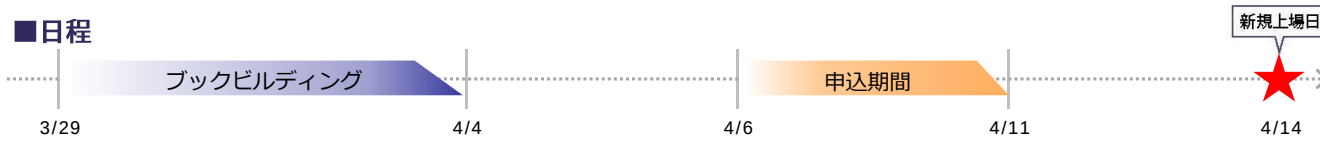


IPO銘柄 日本システムバンク (5530・名メイン)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限PER）	主幹証券
5530	100株	公募：10.00万株 売出：5.00万株（OA2.25万株）	1,800円～1,880円 （10.0倍）	岡三証券



コインパーキング事業などを展開

■事業内容

コインパーキング事業が主力。コインパーキングとして活用可能な遊休土地を持つ土地所有者に対し、その要望に応じて柔軟な提案を行う。23年1月末現在では北海道から九州まで45都道府県で駐車場・駐輪場7,344件（直営数6,155件、管理受託数1,189件）、13万2,270車室を展開する。直営、管理受託の形があり、土地所有者が「コインパーキングの収益性に興味はあるが、自分で運営するのは不安」という場合は直営で手掛ける。同社がコインパーキングの運営事業者となり、土地所有者から賃借した土地にコインパーキングを開設・運営し、土地所有者へ土地の賃借料を支払う。同社所有のテナントビル、マンションを賃貸するプロパティマネジメント事業、その他事業（工芸品の販売事業、ドローン事業）も手掛けている。23年6月期2Q実績の売上高構成比は、コインパーキング事業が98.1%、プロパティマネジメント事業が1.8%、その他が0.1%。

■特徴

コインパーキングに関する、商品企画・開発力、幅広い関連サービスの提供力、トラブルの未然・再発防止力、利用者向けサービスの提供力などが強み。土地所有者が「コインパーキングを自分で運営したい」という場合は、管理受託を請け負う。同社が駐車場機器の供給、メンテナンス事業者として、開設時のコインパーキング造成から、運営開始後における利用者からの入電受け付け、トラブル発生時の駆け付け対応、駐車場機器の定期点検業務まで、必要なサービスをトータルで提供している。

アナリストコメント

■定量分析

23年6月期の連結経常利益は前期比7.2%増の3億6,400万円を計画する。コインパーキング不足の状況は継続しており、新規物件の獲得に注力する中、駐車場の稼働は好調に推移し、感染症の拡大前の水準に戻りつつある。

■定性分析

地方市場に上場する地方企業ということもあり、投資家の注目度が高まっていない。コインパーキングは確実な需要があるビジネスではあるものの、競合企業が多く上場しており、新鮮味も乏しい。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は3億円程度。軽量感のある上場規模ではあるが、買い需要に限られる地方市場への上場案件であることを考慮すると、そこまでの需給妙味もないようだ。（小泉 健太）

■類似企業

日本システムバンク (5530・名メイン)	予想PER 10.0倍 （仮条件上限）
トラストホールディングス(3286・グロース)	予想PER 8.1倍
バラカ(4809・プライム)	予想PER 13.0倍

■引受証券

岡三証券、SBI証券、益茂証券、アイザワ証券、ちばぎん証券、あかつき証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常損益 (百万円)	前年比 (%)	最終損益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
21年6月期(実績)	6,947	—	-89	—	-339	—	-325.1	27.00
22年6月期(実績)	6,776	▲2.5	340	黒転	179	黒転	171.9	31.00
23年6月期(会社予想)	6,756	▲0.3	364	7.2	215	20.3	188.5	53.00

※21年6月期より連結決算

※22年11月に株式分割（1株→100株）を実施。21年6月期および22年6月期のEPSと配当金は遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
21年6月期	10,451	7,188	1,473	497	1,411.6	20.5	—
22年6月期	10,451	6,933	1,655	497	1,585.8	23.9	11.5

※21年6月期および22年6月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	野坂 信嘉	268,084	25.62
2	野坂 俊彰	147,440	14.09
3	野坂 弦司	53,144	5.08
4	野坂 美智代	26,600	2.54
5	(株)サニカ	21,400	2.04
6	林 明代	19,440	1.86
7	出口 和生	17,620	1.68
8	近藤 進	16,520	1.58
9	JAIC企業育成投資事業有 限責任組合	16,400	1.57
10	(株)滋賀銀行	14,000	1.34

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	野坂 信嘉
代表取締役専務 営業本部長	野坂 俊彰
取締役 管理本部長	安嶋 一
取締役	天谷 暢男
取締役	服部 宏和
取締役	田中 保
取締役	八木 信二郎
常勤監査役	天谷 康宏
監査役	青崎 健二
監査役	辰巳 泰壽
監査役	竹内 直人

ウェルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特 徴

ウェルスアドバイザーIPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPOに関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウェルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO日程のほか、ウェルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO（Initial Public Offering）：新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者 登録番号：関東財務局長（金商）第44号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
